

展覧会

久留米市美術館開館 10 周年記念展 美の新地平—石橋財団アーティゾン美術館のいま

このたび、久留米市美術館では、「久留米市美術館開館 10 周年記念展 美の新地平—石橋財団アーティゾン美術館のいま」を開催いたします。

カンディンスキー、オキーフ、さらには堂本尚郎など、20世紀の世界各国で展開された抽象絵画から、ルノワールやカサットら印象派の画家たち、国の重要文化財の尾形光琳《孔雀立葵図屏風》、そして森村泰昌や鴻池朋子ら現代作家まで…。本展では、旧来の印象派や日本近代洋画に留まらない、今も続くアーティゾン美術館のコレクションの広がりをご覧いただきます。

同館のコレクションが、このようにまとまった形で貸し出されるのは、本展が初めて。石橋美術館を前身とする久留米市美術館だからこそ実現した展覧会です。懐かしくてそして新しい名画たちとの出会いをどうぞお楽しみください。

展覧会名	久留米市美術館開館 10 周年記念展 美の新地平—石橋財団アーティゾン美術館のいま
会期	2026年2月14日（土）—5月24日（日）（88日間）
出品点数	80点
会場	久留米市美術館 2階
主催	久留米市美術館、西日本新聞社、読売新聞社、テレQ
特別助成	公益財団法人石橋財団
後援	久留米市教育委員会
入館料	一般 1,500円(1,300円)、シニア 1,200円(1,000円)、 大学生以下無料 前売 1,200円 障害者手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は無料となります。 () 内は 15名以上の団体料金、シニアは 65歳以上。 上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。 前売券はチケットぴあ、ローソン各店にて会期1ヶ月前より販売。 (Pコード 687-195 Lコード 86713)
休館日	月曜日（2月23日・5月4日は開館）
開館時間	10:00-17:00（入館は 16:30まで）
交通案内	JR博多駅より JR久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分 福岡(天神)駅より 西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：森智志、原口花恵 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015（石橋文化センター内） TEL 0942-39-1131 / FAX 0942-39-3134

※開催情報に変更がありました場合には、随時、当館ホームページ、SNS等によりお知らせいたします。

展覧会のみどころ

1 抽象絵画

石橋財団は20世紀以降の抽象絵画収集に力を入れています。アーティゾン美術館の開館を機に、カンディンスキーやクブカ、堂本尚郎といった国内外の重要作が加わり、財団コレクションのイメージを大きく刷新しました。本章では、20世紀に各国で展開した抽象絵画を紹介し、その源流であるセザンヌまで遡ります。



1. ヴァシリー・カンディンスキイ
《自らが輝く》 1924年



2. フランティセック・クブカ
《赤い背景のエチュード》
1919年頃



3. ポール・セザンヌ
《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》 1904-06年頃

2 印象派プラス



マネやルノワールなど印象派の画家たちの作品は、ブリヂストン美術館時代からコレクションの核を成してきました。アーティゾン美術館へと生まれ変わった後は、その基盤を踏まえつつ新たな方向性として女性印象派作家に注目し、近年カサット、ブラックモン、ゴンザレスらの重要作品を積極的に収集しています。

4. メアリー・カサット
《日光浴（浴後）》 1901年

3 日本近世絵画プラス

琳派の作品は、旧石橋美術館別館（現・石橋正二郎記念館）で展示公開されていたころから石橋財団コレクションの日本美術の柱でした。収集は現在も続き、アーティゾン美術館では伊年印や伝俵屋宗達の逸品が新たに加わっています。本展では、琳派に欠かせない尾形光琳《孔雀立葵図屏風》（重要文化財）が久留米で初公開されます。



5. 伊年印 《源氏物語図 浮舟、夢浮橋》
江戸時代 17世紀
※展示期間：2026年2月14日～4月5日



6. 尾形光琳 《孔雀立葵図屏風》
江戸時代 18世紀 重要文化財
※展示期間：2026年4月7日～5月24日



4 パウル・クレー・コレクション

アーティゾン美術館は開館前年にパウル・クレー作品を一括収集し、初期から晩年までを網羅する国際的にも有数のクレー・コレクションを形成しました。本展では新収蔵作を中心に《小さな抽象的—建築的油彩》や《ストロベリーハウスの建築工事》など、創作の変遷を示す12点を紹介します。



7. パウル・クレー
《ストロベリーハウスの建築工事》
1921年



8. パウル・クレー
《双子》1930年

5 日本近現代プラス



9. 藤島武二《東洋振り》
1924年

石橋財団コレクションは青木繁や坂本繁二郎、藤島武二ら日本近代洋画に始まりました。アーティゾン美術館では藤島《東洋振り》など近代洋画のさらなる充実に加え、白髮一雄、田中敦子、草間彌生といった、戦後美術や、海外の美術動向に身を投じた日本人画家たちまで収集を拡大しています。



10. 青木繁《海の幸》
1904年 重要文化財

6 同時代の美術家たちと

アーティゾン美術館では、石橋財団コレクションと現代美術家が共演する「ジャム・セッション」を開館以来毎年開催しています。同時代の作家との出会いによってコレクションに新たな光を当てる企画で、今回は第1回の鴻池朋子《襖絵》と、第2回で森村泰昌が青木繁《海の幸》から着想した《M式「海の幸」》第3番を展示します。



11. 森村泰昌
《M式「海の幸」第3番：パノラマ島綺譚》2021年
©Morimura Yasumasa

※すべて石橋財団アーティゾン美術館蔵

関連事業

□美術講座

「美術講座」

1) 石橋財団コレクションの新地平—青木繁、坂本繁二郎から森村泰昌まで

日時：3月 21日（土） 14:00—15:30

場所：石橋正二郎記念館 多目的ルーム

定員：50名（申込不要、先着順）

講師：伊藤絵里子氏（アーティゾン美術館学芸員）

2) 石橋財団コレクションの新地平—印象派からピカソ、カンディンスキー、クレーへ

日時：4月 18日（土） 14:00—15:30

場所：美術館 1階 多目的ルーム

定員：50名（申込不要、先着順）

講師：松本透氏（アーティゾン美術館副館長）

□ギャラリートーク

▶担当学芸員による

日時：2月 14日（土）、4月 19日（日） 14:00—15:00

▶当館学芸員 2人による掛け合いギャラリートーク

日時：4月 5日（日）、5月 3日（日）、5月 17日（日） 14:00—14:30

▶サポートボランティアによる

日時：4月 11日（土）、4月 25日（土）、5月 9日（土）、5月 23日（土） 14:00—14:20

※集合場所：美術館 2階展示室エントランス

※申込不要・要展覧会チケット

ミュージアム・ショップ

東京・アーティゾン美術館のミュージアム・ショップでしか購入できないオリジナル商品。展覧会会期中だけ特別に当館ミュージアム・ショップでもお買い求めいただけます。

個数限定の商品もありますので、お早めにお求めください。



楽水亭コラボメニュー

田主丸町のレストラン Spoon のオーナーシェフ井上勝紀氏による展覧会をイメージしたオリジナルメニューです。わくわくするような色彩と身体にやさしい味わいのハーモニーをお楽しみください。





作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. web ページ掲載の場合は、必ずコピーガードの処理をお願いします。
6. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
7. 掲載見本を必ず1部お送りください。